

インフルエンザ迅速検査（小児科）について

インフルエンザ迅速検査は、深夜帯（23時～9時）には原則として行っていません。

【当院小児科での方針について】

- インフルエンザの多くは、数日から1週間程度で薬を飲まなくとも自然に治癒します。また、インフルエンザの迅速検査は発熱からの時間が短いと、インフルエンザであっても陰性となります。
- 小児科では、重症（脳症、重症肺炎など）を疑うような状態（医師が診て、意識状態がおかしい、苦しそうな呼吸をしている、けいれんなど）、特定の基礎疾患を持つなどリスクが非常に高い場合を除き、深夜帯（23時～9時）にはインフルエンザ迅速検査は原則として行っておりません。検査をご希望の場合は、翌日以降に、当院（平日午前中）またはかかりつけ医などを受診して検査を受けてください。
- 救急外来受診後、翌日の受診までに、水分が取れない、おしっこが半日以上出ない、意識状態がおかしい、苦しそうな呼吸をしている、けいれん、ぐったりしているなどの症状が出てきた際には、再度受診相談のお電話をお願いします。

平成28年11月16日
東京都立大塚病院長